

公共事業再評価調書（再々評価）

所管課：道路街路課

1 事業概要 (整備目的)	事業名：主要地方道 宜野湾北中城線道路改築事業		前再評価年度：平成20年度	
	事業種別：一般県道改築事業	事業主体：沖縄県		(H11～H25)
	事業箇所：北中城村	根拠法令：道路法		事業期間：H11～H30
	総事業費(百万円)：(13,530) 17,500	費用内訳：補助 9/10		(L=2.57km・W=30.0m) 事業量：L=2.57km・W=30.0m
1-2 前再評価以降の計画変更	北中城村からの要望を受け、利便性向上のため側道や村道付け替え位置の変更を行った。事業費の見直し、事業期間の変更を行った。			
2 再評価該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ① 再評価後一定期間（5年）を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業の中止 <input type="checkbox"/> ③ その他（ ）			
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	■ ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input checked="" type="checkbox"/> ⑨ その他（軍用地返還の遅れ） ・未相続、単価不満等により、必要なまとまった用地の取得に時間を要し工事が遅れている。 ・米軍提供用地についてSACO及び米軍再編等の関係で返還時期の見通しが立っていないことから工事に着手できない。			
4 事業の進捗状況 (H25.3月時点)	項目	事業費(百万円)	整備済み(km)	用地取得(千㎡)
	計画	17,500	2.57	101.6
	実施済	12,308	0.19	93.6
	率	70%	7%	92%
4-2 前再評価以降の主な進捗	渡口交差点の暫定施工をおこない、車線の付加を行った。筆界未定箇所において、筆界の確定を行った。			
5 事業効果の評価指標 (検討年 50年) (基準年 H24) (単位：百万円)	① 走行時間短縮 342,086 ② 走行経費低減 20,155 ③ 交通事故減少 10,143 総便益 372,384 基準年換算(B) 135,656	① 事業費 17,500 ② 維持管理費 351 総費用 17,851 基準年換算(C) 19,109	費用便益比(B/C) = 135,656 / 19,109 = 7.1	
6 事業を巡る状況の変化 (前再評価以降)	① 社会・経済：平成25年4月に発表された「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画」において、宜野湾北中城線の事業区間であるキャンプ瑞慶覧の喜舎場住宅地区の一部については、平成36年又はその後返還可能とされた。 ② 地元・自治体：中部市町村会及び中部振興会より整備促進の要望がある。 ③ 利害関係者：単価不満や未相続があり、用地取得が難航している。			
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 中部圏域の東西道路として、また、中城湾港新港地区へのアクセス道路として中部圏域の産業振興を支援するとともに、近年の交通量の増加に伴う交通渋滞の緩和に寄与するため、早期に整備する必要がある。沿線には小学校、中学校及び北中城村役場等の公共施設が位置しているが、現道は、線形及び縦断勾配が厳しく、また、歩道幅員が狭小のうえ通過交通も多いことから、安全で快適な歩行空間の形成が必要である。 ② 事業の効率性(代替案等の可能性やコスト削減)： 平成24年度末の用地取得は92%に達し、事業費ベースでの進捗率も70%であり、現計画の推進を図ることが効率的である。 ③ 事業効果の発現状況： 渡口交差点において、車線付加等の暫定施工により渋滞緩和の効果はあるものの、他区間の事業が進捗していないため、十分な効果は発現していない。			
8 今後の対応・見直し	① 事業計画等：米軍提供用地については、統合計画の返還時期より早期に返還するよう求めるとともに、その他については用地取得を鋭意進め、予定の事業期間での完成を目指す。 ② 対住民関係：難航用地については、任意交渉と並行し土地収用法による手続きを進める。 ③ 執行体制等：現在の体制で取り組む。			
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止			
10 その他 (前再評価での主な意見等)	・宜野湾北中城トンネルについては、地滑が発生しやすい地形であるとともに、直上は住宅地もあることから、地形変形を起こさないように十分に注意し計画してほしい。 ・泡瀬地区では、今後ビーチの完成やインターハイ等が予定されていることから、観光面からも当該道路は泡瀬地区へ繋がる重要な道路となるため、早期の整備をお願いしたい。			

* 1事業概要の上段()は前再評価時点の計画